この添付文書は捨てないで必要なときにお読みください。

コンセプト クイック®

ソフトコンタクトレンズ用洗浄・消毒システム

医薬部外品

- ご使用前には、必ずこの添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医または販売店に相談し、よく確認してからご使用ください。
- 添付文書は大切に保管してください。
- この添付文書に記載された使用方法や注意事項を厳守してください。取扱方法を誤ると重い眼障害やレンズの破損の原因になることがあります。
- 少しでも異常を感じたら直ちに眼科医の診察を受けてください。また、治療せずそれを放置すると重い眼障害につながることがあり、ひどくなると失明につながる場合もあります。
- ソフトコンタクトレンズの取扱いについてはレンズの取扱説明書を読み、その使用方法等を守ってください。

本剤は、ソフトコンタクトレンズ（グループⅠ～グループⅣ）に使用できます。ただし、虹彩付きソフトレンズ（レンズの虹彩部分に着色しているカラーソフトレンズ）には使用できません。レンズを傷めるおそれがあります。

ソフトコンタクトレンズを装用していると、涙液中のタンパク質や脂肪分、カルシウムなどの汚れがレンズに付着します。これらの汚れはそのままにしておくと装用感が悪くなるだけでなく、レンズの視力矯正力を低下させたり、細菌やカビの繁殖にもつながり、眼に炎症を起こしたりする場合があります。そのため、ソフトコンタクトレンズは、装用後のケアが不可欠です。

コンセプト クイック®は、ソフトコンタクトレンズの消毒と中和が効果的に最短20分で行えるシンプルなケア用品です。
- 過酸化水素（H_2O_2）でレンズをしっかり消毒した後、中和液で素早く、かつ確実に中和します。
- しっかり消毒・中和するので、レンズをいつも清潔に保ちます。

中面もご覧ください

使用方法

レンズを取扱う前には、必ず石けんなどで手を洗い、よくすすぎ、乾かしてください。
本剤を使用する際には、必ず専用クイックケース（以下、「専用ケース」）を使用してください。

コンセプト クイック®は必ずこの3点セットで使用します。

消毒液：クイック1

中和液：クイック2

消毒液に含まれる過酸化水素を中和し眼に対する刺激をなくします。
※中箱ケースに入れて保管してください。

室温保存 禁・凍結

専用クイックケース（別売りの製品もあります）

必ずこの専用ケースを使用してください。
本剤以外の消毒剤では使用しないでください。

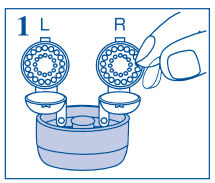
コンセプト®すすぎ液（別売り）

レンズのこすり洗い、すすぎには**コンセプト®すすぎ液**をご使用ください。

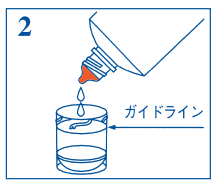
レンズ消毒前に、**コンセプト®すすぎ液（別売）**によるこすり洗いをおすすめします。
レンズの付着菌をより減らすことができます。
コンセプト クイック® 消毒液では絶対にこすり洗いをしないでください。

洗浄・消毒

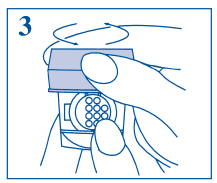
※消毒完了後はすみやかに中和をしてください。
レンズの長時間の消毒液への浸漬はレンズを傷めるおそれがあります。



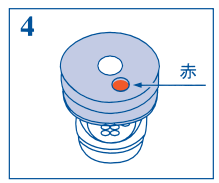
眼からレンズをはずし、左右のバスケットに入れます。
右眼：R　左眼：L
（各々バスケットに表示）



専用ケースのガイドラインまで**消毒液**（クイック1）を満たします。



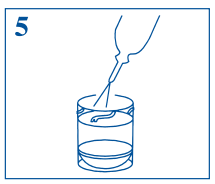
専用ケースの回転部を左右に数回まわします。



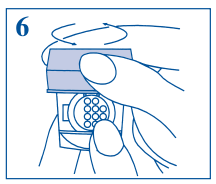
フタを赤印に合わせ、**10分間以上放置**します。
（赤印は消毒中）

中和

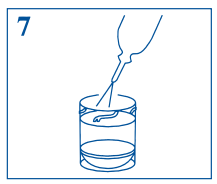
注意：装用前には必ずレンズを中和してください。



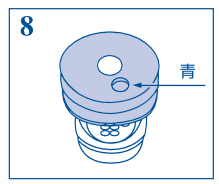
フタを開け消毒液を捨て、ガイドラインまで**中和液**（クイック2）を満たします。



専用ケースの回転部を左右に数回まわし、中和液を捨てます。



残りの**中和液**（クイック2）をもう一度ガイドラインまで満たし、専用ケースの回転部を左右に数回まわします。



フタを青印に合わせ、**10分間以上放置**してください。
（青印は中和中）

レンズ装用前に、**コンセプト®すすぎ液（別売）**ですすいでから装用することで、
レンズをより快適に装用できます。
コンセプト クイック® 消毒液では絶対にすすがないでください。

使用上の注意

守らなければならないこと

1. **この添付文書に記載された使用方法や注意事項を厳守すること。**
2. レンズを取扱う前には、必ず石けんなどで手を洗い、よくすすぐこと。
3. **レンズを装用する前には必ず中和を行うこと。**
   中和せずにレンズを装用した場合には、疼痛（痛み）や充血を起こすことがあります。そのときは、すぐにレンズをはずし、大量の流水またはぬるま湯で眼を洗い、直ちに**眼科医**の診療を受けること。
4. 消毒液（クイック1）と中和液（クイック2）は必ず指定の組み合わせで使用すること。
5. 中和液に24時間以上レンズを保存した場合には、再度、消毒・中和を行ってからレンズを装用すること。
6. 使用手順がわからなくなった場合には、再度、消毒・中和を行うこと。
7. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
8. 目に異常を感じなくても、**眼科医**による定期検査を受けること。

してはいけないこと

1. **本剤は、ソフトコンタクトレンズ（グループⅠ～グループⅣ）に使用できます。ただし、虹彩付きソフトレンズ（レンズの虹彩部分に着色しているカラーソフトレンズ）には使用できません。レンズを傷めるおそれがあります。**
2. 本剤はソフトコンタクトレンズの消毒にのみ使用し、飲まないこと。
3. 消毒液は直接眼に入れないこと。誤って眼に入った場合には、すぐに大量の流水またはぬるま湯で眼を洗い、直ちに**眼科医**の診療を受けること。
4. 消毒液及び中和液の容器の先がコンタクトレンズや指先等に触れると、細菌等により、薬液が汚染または混濁することがあるため、注意すること。また、混濁したものは使用しないこと。
5. 本剤は煮沸消毒に使用しないこと。本剤の消毒液、中和液と他の消毒剤を混ぜたり、組み合わせて使用しないこと。
6. 一度使用した薬液は、再使用しないこと。
7. 使用期限を過ぎた製品は、使用しないこと。

相談すること

1. 次の人は使用前に**眼科医**に相談すること。
   - 今までに眼のアレルギー症状（例えば、眼の充血、かゆみ、はれ、発疹、発赤等）を起こしたことがある人。
   - 眼科医の治療を受けている人。
2. **本剤を使用したソフトコンタクトレンズを装用中、または装用後に、炎症、かわき眼、疼痛、かゆみ、流涙、眼のかすみ、眼の充血等の異常を感じた場合には、直ちにレンズをはずし、眼科医に相談すること。そのまま装用し続けると、感染症や角膜潰瘍等の重い眼障害につながることがあります。**

効能又は効果

ソフトコンタクトレンズ（グループⅠ～グループⅣ）の消毒

用法及び用量

1. 消毒液を専用ケースの線まで満たす。
2. コンタクトレンズを専用ケースに入れ、10分間以上放置する。
3. 消毒液を捨て、中和液を専用ケースの線まで満たす。
4. 中和液を捨て、再度中和液を専用ケースの線まで満たし、10分間以上放置する。
5. 専用ケースよりコンタクトレンズを取り出す。

成分

［消毒液］過酸化水素3.0w/v%、pH調整剤
［中和液］カタラーゼ260単位/mL、等張化剤、緩衝剤、安定剤、pH調整剤　表示指定成分：エデト酸塩

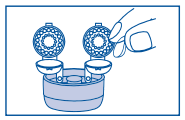
保管及び取扱い上の注意

1. 小児の手の届かない所に保管してください。
2. 使用に際しては、直射日光の当たる場所での使用を避け、常温で使用してください。
3. 使用後は消毒液のキャップをしっかり締めて、中和液とともに、凍結を避け、直射日光の当たらない場所に、室温で保管してください。中和液は凍結すると十分な中和効果が得られないことがあります。また、未開封の中和液は、中箱ケースに入れて保管してください。
4. 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。
5. 本剤を使用する際には、必ず専用ケースを使用してください。
6. 容器を開封したら、すみやかに使用してください。

専用ケースの取扱いに関する注意

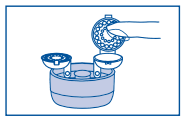
1. レンズを取り出した後の専用ケースは、毎回、空にして、専用ケースの内側まで流水でよく洗った後、自然乾燥してください。専用ケースの洗浄が不十分であった場合、中和成分がレンズケース及びレンズバスケットに残留し、十分な消毒効果が得られないおそれがあります。消毒液を入れた後、専用ケース内に異常な発泡があった場合、バスケットからレンズを取り出し、専用ケースを水道水でよく洗ってから、再度、消毒・中和を行ってください。
2. 長期間の使用により、汚れ等の蓄積による細菌等の繁殖をまねくことがありますので、専用ケースは少なくとも**6カ月に一度**は交換してください。その期間内であっても、汚れや劣化が認められる場合には、新しい専用ケースに交換してください。
3. 専用ケースから液がもれる場合がありますので、消毒・中和中の専用ケースの持ち運びは避けてください。
4. 専用ケースは本剤以外の消毒剤には使用しないでください。

■レンズをケースに入れるとき



右（R）と左（L）を確認して、各々のレンズの凸面を下にして入れてください。
フタをする時に、レンズが完全にバスケット内に入っていることを確認してください。

■レンズをケースから取り出すとき



左図のように指の腹にレンズを付けて真上に上げます。

✕ レンズに爪を立てたり、指ではさんで取り出さないように注意してください。レンズを破損するおそれがあります。

レンズのタンパク除去

コンセプト クイック®による洗浄・消毒に加え、レンズに付着したタンパクの除去には、タンパク除去剤「コンセプト®酵素クリーナー」の使用が必要になります。タンパク除去剤の使用頻度につきましては、ご使用のコンタクトレンズの取扱説明書の指示または、眼科医の指導に従ってください。目安として週に1回の使用をおすすめします。

製造販売元：**エイエムオー・ジャパン 株式会社**
東京都港区虎ノ門5-13-1
お客様フリーダイヤル 0120-525-011（土日祝日除く9:00～17:30）
http://www.amo-inc.jp/eyecare/

AM70313JA11K 輸入品

Abbott

これは保管してください

コンセプト クイック®
レンズケアで大切なこと
～気をつけましょう～

しっかり消毒・しっかり中和！

レンズケア前

- **レンズを取扱う前には、必ず石けんなどで手を洗い、よくすすぎ、乾かしてください。**
- **本剤を使用する際には、必ず専用クイックケース（以下、「専用ケース」）を使用してください。**

ケアのポイント！ ケア前に、必要なものをそろえる！

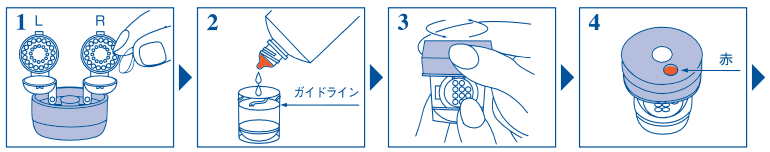
レンズ消毒前に、**コンセプト® すすぎ液（別売）**によるこすり洗いをおすすめします。レンズの付着菌をより減らすことができます。
コンセプト クイック® 消毒液では絶対にこすり洗いをしないでください。

必ず手を洗いましょう → 必ず石けんなどで手を洗い、よくすすぎます。清潔なタオル（毛羽立たない素材）などで拭いて十分に乾かします。

絶対に消毒液でこすり洗いをしない 消毒液を眼に入れない → 消毒液は非常に強い刺激があり、眼に入ると眼障害を起こす可能性があります。絶対に眼に入れないでください。

レンズケア

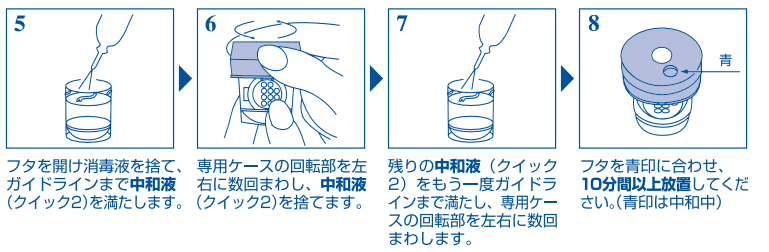
洗浄・消毒



消毒液と中和液 必ず組み合わせて使用すること → 本製品の消毒液と中和液を必ず組み合わせて使用してください。この組み合わせ以外では使用しないでください。

必ず中和をすること → 専用ケースのフタの印を、次のように合わせてください。
【消毒中＝赤印】
【中和中＝青印】
※レンズ装用前に、青印になっていることを確認してください。

中和



消毒後はすみやかに中和を行うこと → 消毒液に長時間レンズを浸しておくことはレンズを傷めるおそれがあります。消毒後はすみやかに中和を行ってください。

容器の先に触れないこと → 容器の先がコンタクトレンズや指先等に触れると、細菌等により、薬液が汚染または混濁することがあるため、注意してください。また、混濁したものは使用しないでください。

使用後にはキャップをしっかり締めること → ボトル内の汚染を防ぎ、消毒効果を保つため、使用後はボトルのキャップをしっかり締めてください。また、未開封の中和液は中箱ケースに入れて保管してください。

装用

- **レンズ装用前にも、手を洗い清潔にしましょう。**

レンズ装用前に、**コンセプト® すすぎ液（別売）**ですすいでから装用することで、レンズをより快適に装用できます。
コンセプト クイック® 消毒液では絶対にすすがないでください。

絶対に消毒液でレンズをすすがない 消毒液を眼に入れない → 消毒液は非常に強い刺激があり、眼に入ると眼障害を起こす可能性があります。絶対に眼に入れないでください。

※中和液に24時間以上レンズを保存した場合には、再度、消毒・中和を行ってからレンズを装用してください。

レンズケア後

- **使用後の専用ケースを清潔にしましょう。空にして、流水でよく洗った後、自然乾燥してください。**
- **専用ケースは少なくとも6カ月に一度は交換してください。**

専用ケースはいつも清潔に → 使用後の専用ケースは空にして、流水でよく洗った後、自然乾燥してください。中和成分がケース内やバスケットに残っていると十分な消毒効果が得られないおそれがあります。

専用ケースは定期的に交換しましょう → 長期間の使用により、汚れ等の蓄積による細菌等の繁殖をまねくことがありますので、専用ケースは少なくとも6カ月に一度は交換してください。その期間内であっても、汚れや劣化が認められる場合には、新しい専用ケースに交換してください。

その他

- ●この添付文書は保管して、いつでも読めるようにしておきましょう。
- ●エイエムオー・ジャパンのコンタクトレンズケアサイト "EYE STATION"でも添付文書を見ることができます。
  また、製品情報、製品のQ&A、使い方の動画もご覧いただけます。
  http://www.amo-inc.jp/eyecare/

液のつめかえ禁止 → 十分な消毒効果を発揮するには、誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえたり、小分けにしたりしないでください。

定期検査を受けましょう → 特に眼に自覚症状がなくても定期的に眼科医による検査を受けましょう。